



2018年3月28日

東久留米市、はがくれゆうしん葉隠勇進株式会社、株式会社東邦運輸、亜細亜大学、株式会社イトーヨーカ堂 『産・官・学の包括連携による次世代を担う 子どもたちの育成事業に関する協定』を締結

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：三枝 富博）と東久留米市、葉隠勇進株式会社、東邦運輸株式会社、亜細亜大学は、2018年3月28日（水）に、相互の連携を強化し、「産・官・学の包括連携による次世代を担う子どもたちの育成事業に関する協定」を締結いたします。

イトーヨーカ堂と東久留米市は、2016年11月に「地域活性化包括連携協定」締結し、子ども・青少年育成とキャリア教育等に関して推進してまいりました。このたび、東久留米市が推進する次世代を担う人材の育成に寄与するため、葉隠勇進株式会社が実施する「学びの支援」に対し、食品を寄贈いたします。

5者は今後も相互連携と協働による活動を推進し、東久留米市のより一層の地域の活性化及び市民サービスの向上に努めます。

1. 協定の名称 『産・官・学の包括連携による次世代を担う子どもたちの育成事業に関する協定』

2. 協定締結日 2018年3月28日（水）

3. 協定締結の目的

次世代を担う人材の育成に寄与するため、葉隠勇進が実施する「学びの支援」に対し、5者が相互に連携して協力することを目的とする。

4. 連携事項

- (1) 東久留米市は、本事業の実施における総合的な調整を行う。
- (2) 葉隠勇進は、2018年4月1日に開設する新児童館「子どもセンターあおぞら」において学びの支援を実施。
- (3) イトーヨーカ堂は、イトーヨーカドー東久留米店で通常販売する食品のうち、消費期限又は賞味期限内であるが、イトーヨーカ堂が設定する販売期限を超過した商品を葉隠勇進に無償で譲渡する。また、本業特性を活かした学びの支援に関係各位と連携し取り組みを推進する。
- (4) 東邦運輸は、イトーヨーカ堂から寄贈食品を受領し、子どもセンターあおぞらに運送の上、葉隠勇進に引き渡す。
- (5) 亜細亜大学は、学びの支援の企画や実施協力等のため、学生ボランティアを派遣する。

5. 学びの支援とは

子どもセンターあおぞらを利用する子どもたちに対して、健やかな子どもたちの育成を目的に、学生ボランティアの協力を得ながら、遊びも含めた学び、多文化交流、食育、健康等のノウハウを取り入れた児童館事業を実施するために、イトーヨーカ堂からの寄贈食品を利用して行う産・官・学の包括連携による子育て支援事業をいう。

以上